

# 【客室の空間品質 判断基準】

一般社団法人 日本除菌脱臭サービス協会

評価	臭いの度合い	3つの官能評価			6段階臭気強度表示法 (悪臭防止法)
		意識評価	順応評価	ストレス評価	
【Superior】 ★★★	ほぼ無臭	無意識でも意識的に 臭いをかいても臭気を感じない。	ほぼ無臭のため、 臭気へ慣れについては関係ない。	臭いの存在すら感じることなく、 ストレスは全くない。	0: 無臭
					1: やっと感知できる臭い (検知閾値)
【Luxury】 ★★	わずかに 臭気を感じる	意識していない状態では 臭気を感じないが、 意識的に嗅ぐと臭いを感じる。	入室後、しばらくすると慣れて 気にならなくなる。	かすかな臭いは感じるが、 ストレスを感じるほどではない。	2: 何のにおいであるか わかる弱い臭い (認知閾値)
【Normal】 ★	臭気を感じる	意識していなくても、 臭気を感じる。	長くいれば慣れてくるものの、 入退室のたびに臭いを感じる。	我慢をしながらも 受け入れる程度のストレスを感じる。	3: 楽に感知できる臭い
【NG】	臭気を 強く感じる	意識していなくても、 強い臭気を感じる。	数時間経過した後でも臭いを感じ、 慣れることはない。	部屋の変更を申し出る、 クレームを言うなどの域まで達する 強いストレスを感じる。	4: 強いにおい
					5: 強烈なにおい